

やわた蔵 川西町西大塚



リクオ プロフィール

京都出身。1990年のデビュー以降、ニューオランダピアノ、R&B、ブルース、ジャズ等に影響を受けたグルーヴなピアノスタイルと、ソウルフルなヴォーカル、切なさのつばを揮える楽曲で、ワン・アンド・オンリーの存在となる。

年間12年を越えるライブツアーで知られたファンキーなライブパフォーマンスは、世代・ジャンルを越えて熱狂的な支持を集め、いつしかローリングピアノマンと呼ばれるようになる。

世代を超えて数多くのアーティストとのコラボレーション、レコーディング、ライブ参加も積極的に行い、これまでに共演したアーティストは豊野清志郎、佐野光幸、ブルバハーン、オリジナルラブ、友部正人、おねはた健一、有山ゆかり、真木裕子、原田しげる、山口洋 (HEATWAVE)、ソウルブラザー・ユニオン、トータス松本、ウルフルケイスケ、梅津和時、Galyon、木村カスミ、多岐田えみ、遠藤賢司、徳山剛、クレイジーケンバンド、BONNIE、黒崎堂、佐藤竹善、小坂梨、水原タカシ等々、枚挙にいとまがない。

04年からは「世界で一番やんちゃなピアノマン」名義でCD、DVD、FM、ライブ、TV、CM、書籍など々と結び、これまでに3枚のアルバムと1枚のライブDVDをリリース。ピアノの概念を打ち破る傑けたサウンドと、エンターテインメント色の強いステージで注目を集める。

10年1月には完全ピアノ弾き語りスタイルでのカバーアルバム「リクオのピアノ」をリリース。「70年代以降の邦楽曲をリクオならではのアレンジ、解釈で料理することによって、カバーアルバムでありながら、ワン・アンド・オンリーの存在感を際立たせる真大成ともいえるアルバムに仕上がった。

アルバムや唯一のセルフカバーである「胸が痛い」は豊野清志郎氏との共作。